



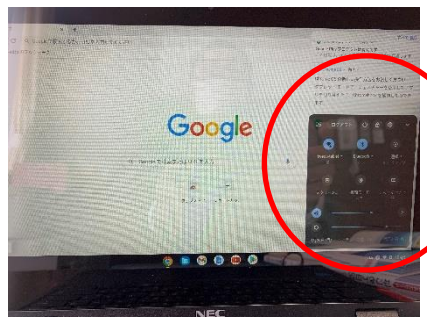
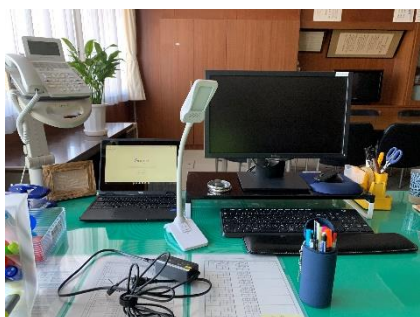
Chromebook がやってきた！

4月最後の週末、お天気がよかったので、近くの公園に気分転換に出かけました。ソメイヨシノのお花見の時期は過ぎても、公園は美しい花が満開でした。写真左は今が満開のボタンザクラ。写真中は「御衣黄（ぎょいこう）」という珍しいサクラです。オオシマザクラを母種としたサトザクラで、可憐な淡い黄緑色が特徴のサクラです。そして写真右は「ハナミズキ」。一青窈さんの歌でも有名なこの花も今が満開の季節を迎えています。コロナ禍でも季節の花々は見事に咲き誇り、私たちの目を和ませてくれています。



さて先週、待望の Chromebook を配付させていただきました。GIGAスクール構想の一人一台端末の実現のために、大和町でも各学校の児童生徒そして全教職員用に準備をしていただきました。校内のWi-Fi環境も整えていただき、環境面も整備をしていただきました。ここまで準備していただいたのですから、あとは私たち学校がいかにかこれらを使うか、ということです。

一方、忘れていけないのは、Chromebook は手段で目的がきちんとある、ということです。よく言われることに、「端末は文房具と同じ」という表現があります。文房具ですから、ノートや消しゴム、定規などと同じ、ということです。ここをまず職員で共通理解し、「まず（文房具のように）子供と使ってみる」ことが求められます。



偉そうなことを言っていますが、私も Chromebook の全くの初心者。何とか、初回ログインを終えたものの、早速「シャットダウン」で悩んでしまいました。新しい機器を触ると（今更こんなこと聞けないなあ・・・）ということがたくさんあります。多分子供たちの方がこういった機器の操作や理解は早いものと思われま。ちなみに赤い○「ステータストレイ」は時計のあたりをクリックすると写真のような詳細画面がでてきて、安心して終了することができるそうです。それと、マウスがないのが心配でしたが、タッチパッドの操作に慣れていない私のような人はマウスも使用可能なのだそうです。ただ、子供たちには、「脱マウス」の方が何かと便利かも知れませんね。実際「タッチパッド独自のジェスチャー操作（複数の指を使った操作）」がお勧めのようでした。実際に Chromebook を手にし、今後子供たち一人一人に配付されることを考えると、間違いなく授業がそして学校が大きく変わる予感がしました。今回の改革は明治の学制発布以来150年を経た学校大改革。私たちが目指す「令和の日本型学校教育」への期待が芽生えたのも事実でした。 (文責：手代木)